

今日の一句

やほろかき
指先はれは
こほろむか

季語：ほろ(冬)

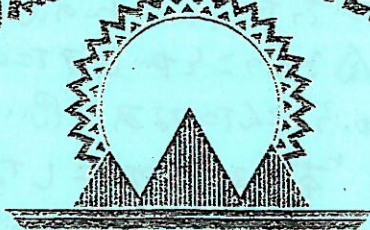
新賀まり

あまに桑かたは指先
なひのこ。この指先はきと
凍るにうとと連想して可。
この指、幼い見ても恋いも
よい。毎日新聞 01.04

山陽堂だより 6

2010年2月

YAMODO SHOTEN



山陽堂書店

きさらま 如月(旧暦2月)

「着もの更に着る」
「木更に生える」等の
意味合いもある。

お休みの
お知らせ
2月、3月の
土曜日の休みは
ありません。



山陽堂創業120年を祝う会 2月11日

かゝられたとき70才だった山陽堂が、この3月5日で
創業120年を迎えることになりました。ということで
去る2月11日の建国記念日に「山陽堂創業120年を祝う会」を
ホテルフロンティア晋山さんでひらきました。

初代から数えて5世代めの4才から、3世代めの87才まで
山陽堂に関わってきた親族、働いてくれた方、お世話になった方
総勢75人が一堂に会し、山陽堂のこれまでをスライドや
展示物(昭和初期山陽堂屋上にはためいていた旗、半世紀
100年前の書店名簿など)でふりかえりました。

途中5世代めだけで(4才~26才)、これも名刺交換会”
をしたのですが、4才と26才が自己紹介をしあう交換する
様子は、傍らでみているとなかなかおもしろいものでした。

昭和30年代初めから昭和40年代半ばころまで店でほと
らいてくれた店員さんたちも岡山・大阪・岐阜・千葉から
かけつけてくれました。みなさん中学を卒業後、高校大学と
夜学に通いながら住みこみで働いてくれました。家族の如に
いっしょにごはんを食べて、時には明治神宮にお散歩に
つれていってもらったり国立競技場についてオリンピック選手に
会わせてもらったり、テートについていたり。店員のお兄さん
たちにはよくあそびてもらいました。そしてよく働いてもらいました。
ある店員さんは、今でも顔で逢いまたにあわなくて学校に遅刻する

夢を見るっていいました。

それから、現在の山陽堂の建物を昭和6年に建ててくれた建築屋さんの子孫の方々にも来ていただきました。昭和の職人魂のこもった建物か山陽堂をあの戦火から守ってくれました。

3時間という限られた時の中に山陽堂120年のさまざまな人の思い、金に出席してくださったそれぞれの思いが重なりあっているようにでした。このような会ともつじかできなかったのも、今、ここに集まるとも山陽堂があるからなれたなあと思いました。

これから山陽堂は「本」を大切にしながらこの港に青山の地で商売をさせていたいただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



))
どうも
よろしく
あゆみ
します。

港に

村と香樹著 予約受付中!!!

1Q84 ③ 1995年

みなさま、あかけさまのこの山陽堂も「1Q84 ③」の予約を受けるところでございまして。お早めのお申し込み、お待ちしております。

山陽堂120周年
のイベント

3月3日のあゆみまつり
くらいにかつ新聞
(お)出はあ。みにきくた
さい!

東京・原宿をテーマに

“La Donna” 2月1日 創刊

ラドンナはイタリア語で貴婦人。
編集部では「ラドンナ」という女子
と輝いている女子ととええ。

「ラドンナカール」という新しいスタイルを
提案していきます。

今更にはうつつかあったでいふか...

新潮社・ミシマ社

共同でフェア実施中

この人の本とよんじ(らしい)と

“内田樹”

あつた壁の着
るに
か
く
う
い
ま
す。

山陽堂連絡先

港区北青山 3-5-22

TEL03-3401-1309

FAX03-3401-1358

e-mail sanvodo@bi.wakwak.com

営業時間

月～金

10時30分～19時30分

土(不定期で月に一回休み)

10時30分～16時

休み 日・祝日

*2月・3月は全土曜営業です。

というふうでいます。
お気軽に山陽堂におきくでいい。